

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第18号

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代

鹿児島県内における中世のトイレ遺構
—科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡

令和6年度 年報

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2025. 10

『縄文の森から』第18号 目次

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター・・・・・・・・ 1

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代・・・・・・・・ 39

鹿児島県内における中世のトイレ遺構 —科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人・・・・・・・・ 45

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡・・・・・・・・ 57

令和6年度年報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

令和 6 年度 年 報

県立埋蔵文化財センター
第一調査係の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	名主原遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋吾平 佐多線(吾平道 路)道路改築	本調査	1,974	5月 ～ 11月	弥生中期		土器(山ノ口式)	○昨年度に引き続き多数 の竪穴建物跡を検出した。 大型の建物跡の多くは花 弁型を成し、小型のものは 方形建物跡が多い。大型 の建物跡からはガラス小 玉が多く出土している。 ○鹿児島県では初となる 鉄製櫛櫛具が出土した。	岩永 新和技 術コン サルタ ント(株)
								弥生後期 ～ 古墳前期	竪穴建物跡63基、溝状 遺構4条、掘立柱建物跡 1基、ピット128基、硬化 面2か所	土器(高付式、中津野式、 東原式、免田式)・絵面土 器、砥石、石製櫛櫛具、 磨・散石、小型石ノミ、石 製紡錘車、棒状製品、鉄 鋸、鉄製櫛櫛具、鉄片、 不明鉄製品、ガラス小 玉、ガラス製品、管玉		
								古墳後期		須恵器		
								近代	戦闘機墜落痕跡(日本軍 機)1か所	ジェラルミン片、ケーブル 類、12.5mm機銃弾(米軍)		
2	下城跡	姶良市	土木部 道路建設課	(一)十三谷重 富線 北山2工 区整備	本調査	4,100	5月 ～ 2月	縄文		土器片、打製石斧、磨製 石鏃、石皿	○狭い調査範囲ながら各 曲輪・空堀等の中世面の 検出が出来た。 ○各曲輪には1基ずつか まど状遺構が検出された。 ○曲輪5においては2間× 3間を超える庇を持つ、比 較的大きな掘立柱建物跡 を検出した。 ○南九州のシラス台地の 城郭で度々検出されてい る、長さ約1.2m×深さ約 1.7mの隅丸方形型の竪穴 土坑が検出された。	新保 大福コ ンサル タント (株)
								中世	掘立柱建物3棟、かまど 状遺構3基、土坑5基、 硬化面2条、空堀5、虎 口状遺構、段切岸、土 塁、ピット多数	龍泉窯系青磁碗、漳州窯 系青花碗、景德鎮窯系青 花碗、備前焼播鉢、常滑 焼片、青磁、白磁、土師 器、フイゴ羽口、埴塼、金 床、鍛造剥片、礬石、洪 武通宝		
								近世		肥前系磁器碗、天保通 宝、薩摩焼播鉢、壺、土 瓶		
								時期不明	硬化面(J-11区)			

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	名主原遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋吾平 佐多線改築 事業	整理	—	R4 ～ R6	縄文 ～ 弥生中期	— —	土器(指宿式) 土器(山ノ口式)	○絵面土器や石庖丁、砥 石が多く出土している。 ○免田式土器やジョッキ形 土器など他地域との鑑入 や模倣と考えられるものが 確認されている。 ○破鏡や線刻石庖丁、ガラ ス玉などの希少な遺物が 確認されている。	黒木 岩永 平
								弥生後期 ～ 古墳	竪穴建物跡135基、溝状 遺構9条、道路状遺構3 条、埋設土器3基、土器 集中11か所、土坑86基、 掘立柱建物跡・ピット群4 基、ピット1017基、墓・埋 葬施設3基	土器(高付式、免田式、中 津野式、東原式)、丸玉、 勾玉、紡錘車、不明土製 品、石庖丁、石庖丁未製 品、砥石、磨・散石、台 石、軽石製品、磨製石 鏃、打製石鏃、磨製石 斧、鉄鏃、鉄斧、鉄錐、鉄 針、鉄鑿、鉋、鉄片、鉄 塊、鋳造剥片、不明鉄製 品、破鏡、鉄製石庖丁、 ガラス玉、ガラス勾玉		
								古墳後期	溝状遺構3条、道路状遺 構3条	須恵器		
								古代	溝状遺構1条、道路状遺 構11条	土師器		
2	中組遺跡	天城町		伊仙天城線 真瀬名工区 道路改築事業	報告書 刊行	—	R5	中世	—	青磁、カムイヤギ、中国・ 東南アジア産陶器	○沖縄産の施釉陶器・無 釉陶器が出土している。 食膳具は加治木・姶良系 が多く、貯成具は苗代川産 が多く出土している。	上浦 星野 黒川
								近世・近代	溝状遺構1条、土坑5 基、柱穴11基、石垣1基	近世陶磁器(肥前・薩摩・ 沖縄)		
3	柳迫遺跡	曾於市	道路維持課	特定交通安全 施設等整備事 業(深川工区)	報告書 刊行	—	R5	縄文後期	—	土器(丸尾式、西平式、中 岳Ⅱ式)、石鏃、磨製石 斧、石皿	○文明ボラで覆われ、南北 にのびる溝状遺構が検出 された。 ○遺物では中岳Ⅱ式土器 を中心に出土している。	上浦 黒川
								古代	土坑2基	土師器(壺)		
								中世	溝状遺構4条	—		
								時期不明	帯状硬化面1条	—		

県立埋蔵文化財センター
第一調査系の成果(県事業関係の調査)

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
4	鹿児島城 二之丸跡	鹿児島市	商工政策課	環境保健セン ター・城山庁舎 跡地文化財調 査事業	報告書 刊行	—	R5	近世	溝状遺構2条、瓦溜、柱 穴列、土坑、瓦列(雨樋 遺構か)	瓦(平・丸瓦・軒丸・軒平 瓦)、中国陶磁器、国産陶 磁器(薩摩焼、肥前系、琉 球)、木製品(将棋盤か)、 土師器、瓦質土器	○近世の柱穴列や溝状遺 構が発出された。中でも柱 穴列は境となる塙の控え 柱の可能性があり、二之丸 が拡大・整備された時期の 貴重な資料となる。	星野 黒木
								近代	石列、礎石、石組排水溝	瓦、陶磁器	○17世紀後半以降の将棋 盤と考えられる木製品が土 坑の中から出土した。全国 でも4例目の出土例となる 可能性がある。	
5	河ロコレクシ ョン(高橋貝塚)	南さつま市	鹿児島県教 育委員会	よみがえる 「河ロコレクシ ョン」の世界	報告書 刊行	—	—	弥生時代前 期～中期	貝塚、住居跡1基、土坑 4基、礎集中1基	・土器類 縄文時代晩期 土器(夜臼式土器)、弥生 時代前期土器(高橋Ⅰ 式・Ⅱ式、板付Ⅰ式・Ⅱ 式を中心とする)、弥生時代 中期前葉土器、土製品 (紡錘車など) ・石器(石鏃、石包丁、磨 製石斧、柱状片刃石斧、 穿孔具、石錐、石匙、打 製石斧、磨・敲石、石皿、 砥石、軽石製品など) ・骨角器(釣針、骨鏃、尖 頭器、垂飾品など) ・貝製品(貝輪、貝輪未製 品、貝刃) ・管玉・自然遺物	○前期末から後期初頭に かけての有明海沿岸部の 甕棺破片が多く出土し、丹 塗り土器も出土している。 石器は剥片石器の石材と して、腰岳の黒曜石と多久 産の安山岩が、柱状片刃 石器の石材には磨灰岩 が、石包丁の石材に蘆青 石ホルンフェルス製が使わ れている。有明海沿岸部か らの搬入と考えられる。弥 生前期末から、沖繩・奄美 で作られるようになる腹面 貝輪組加工品が、中継地 を介さず消費地に届くよう になると高橋貝塚の存在 価値は低下し、遺跡は衰 退するといわれていたが、 高橋貝塚の役割は終焉を むかえず、前期末～中期 初頭に有明海ルートが開 かれ、高橋貝塚を舟運窓 口とする高橋遺跡は、中期 を通して中継地として機能 したと考えられる。	堂込 宮崎
6	南の縄文文化 (上野原遺跡ほ か)	霧島市ほか		南の縄文文化 魅力発信事業	整理 活用	—	—	縄文	—	【上野原遺跡】 平格式土器 塞ノ神式土器 【加栗山遺跡】 加栗山式土器	○過年度に調査・報告され ている上野原遺跡・加栗山 遺跡の再整理作業を行っ た。未報告資料の接合・復 元等を行い、新たに復元し た資料を中心に、かごしま 遊楽館(東京都有楽町)や 志布志市埋蔵文化財セン ター、伊集院文化会館等で 展示を行った。また、学校 等への出前授業では、計 21校900名以上の子どもた ちへ、実際の出土品に触 れてもらった。	宮崎 上浦

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積(m)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	二子塚B遺跡	大崎町	土木部道路建設課	黒石串良線(二子塚工区)地方特定道路整備事業	本調査	400	5月 ～ 6月	縄文早期	埋設土器1基、集石3基、土坑1基	土器(手向山式、塞ノ神A式、縄文早期後葉)、打製石鏃、磨石、剥片・チップ	○縄文時代早期後葉の集石3基(うち1基からは複数の炭化物採取)及び塞ノ神B・苦浜式土器の埋設土器1基、落とし穴の可能性のある土坑1基の検出。 ○縄文時代後・晩期の落とし穴の可能性のある土坑1基の検出。	山下 廣
								縄文後晩期	土坑1基			
								時期不明	ピット3基			
2	栢城跡	さつま町	鹿児島県教育委員会	県内遺跡事前調査事業	確認調査	530	11月	時期不明	—	木片、種子	○加工痕のある木片や種子を検出した。 ○周辺地形踏査で、人工と考えられる尾根上の地形を10条ほど確認した。	東 山下

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積(m ²)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	久保田牧 遺跡	鹿屋市			整理 報告書 刊行	—	R1 ～ R3	縄文前期 ・中期	土坑17基、落とし穴6基、 集石3基、土器集中1か 所	土器(曾畑式、深浦式、 野久尾式、条痕文、船元 Ⅱ・Ⅲ式、山田平式)、打 製石鏃、石匙、磨製石 斧、打製石斧、磨石、敲 石、環石、石鏃	○縄文時代前期中葉から 古墳時代編を刊行した。 ○縄文時代前・中期では、 調査範囲の北側と南側での 出土状況から、野久尾式と 船元式は異なる伴出状況 がみられ、野久尾式の型式 変化について検討を行っ た。 ○刻目突帯文土器は立塚 遺跡に近接する北側から多 く出土し、遺跡間で接合し た。 ○古墳時代は堅穴建物跡 から篋貫式段階の壺と丸底 壺が出土し、折衷型もみら れた。また、篋貫式段階の 壺と丸底壺を合わせ口にし た土器棺や、土器溜まりか ら杓子形土製品も出土し た。	森 楸 田
								縄文後期	—	土器(市来式、丸尾式、 西平式、中岳Ⅱ式)		
								縄文晩期 ～弥生	土坑4基	土器(黒川式、刻目突帯 文、組織痕)、打製石斧、 紡錘車		
								古墳	堅穴建物跡19軒、土坑4 基、土器棺1基、土器溜 まり1か所	土器(成川式)、須恵器、 杓子型土製品、勾玉、ガ ラス小玉、紡錘車、軽石 製有孔製品、棒状礫、炭 化材、鉄製品		
2	立塚遺跡	鹿屋市	土木部道路 建設課	(主)鹿屋吾平佐 多線改築事業	整理	—	R2 ～ R4	縄文晩期 ～弥生	環状配列土坑群48基、 石皿片または礎等を伴う 土坑61基、土坑24基、柱 穴・ピット1505基、巨大柱 穴13基、遺物集中1基	土器(黒川式、干河原段 階、刻目突帯文)、土製 勾玉、打製石斧、石鏃、 打製石鏃、磨製石鏃、石 廬丁、石皿、台石、剥片 石器、磨石、敲石、軽石 製品、管玉	○縄文時代晩期から弥生 時代の遺構・遺物の基礎整 理作業を実施 ・個別遺構図と遺構配置図 の作成 ・環状配列土坑の時期と性 格等について検討 ・遺物の実測 ・年代測定等の自然科学分 析を実施	倉 元 藤 島 山 下
								弥生中期	—	土器(山ノ口式)		
					報告書 刊行			古墳	柱穴・ピット1基	土器(中津野式、東原 式、辻堂原式)	○古墳時代以降編を刊行 ○古墳時代 ・須恵器の坏蓋や、丸底壺 の出土 ○古代 ・自然災害(紫コウ)前後の 土地利用の推移 ・他遺跡の成果と合わせ た、台地上の土地利用の様 相 ○近世 ・薩摩焼や肥前焼等の出土	
								古代	欅間状遺構626条、掘立 柱建物跡5棟、柱穴・ピッ ト1359基、土坑14基、古 道9条、紫コウ堆積14 基、溝状遺構3条	土師器(杯・皿・碗・鉢・ 甕・紡錘車・墨書土器 等)、須恵器(壺・杯・は そう・壺・壺等)		
								近世	—	陶磁器(龍門司・苗代川・ 肥前系等)		
								時期不明	柱穴・ピット299基、土坑 5基	—		

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
3	二子塚B遺跡	大崎町	土木部道路建設課	黒石串良線(二子塚工区)地方特定道路整備事業	整理報告書刊行	—	R4～R6	縄文早期	竪穴建物跡1軒、土坑12基、ビット62基、遺物集中1か所、集石遺構12基、埋設土器1基	土器(前平式、加栗山式、吉田式、辻タイプ、石坂式、下剥釜式、手向山式、平柄式、壺ノ神式、吉浜式)、石鏃、石槌、石匙、磨製石斧、打製石斧、磨・敲石、石皿・台石、チップ、フレーク	○縄文時代早期(主に後葉)の集石の検出や落とし穴、埋設土器を検出。一部の集石内炭化材や種実の分析により種類を特定。他に、当該期と考えられる落とし穴、埋設土器の検出。 ○縄文時代後期の中岳Ⅱ式土器を埋土内に含む竪穴建物跡や土坑の検出。ほかに、落とし穴を検出。 ○古墳時代の竪穴建物跡の検出。一括資料による土器の属性変化(宮崎平野の遺物との関係性を含む)を知る資料と評価。 ○現道と並行する古道の検出。当地における道の位置の推移。	廣中野
								縄文後期・晩期	竪穴建物跡2軒、立石遺構2基、土坑3基、遺物集中4か所、ビット40基(内、6基遺物含む)	土器(中岳Ⅱ式、入佐式、黒川式、組織痕)、打製石鏃、石鏃、石匙、打製石斧、磨製石斧、磨・敲石、台石・石皿、チップ、フレーク		
								弥生	—	土器(刻目突帯文、山ノ口式)		
								古墳	竪穴建物跡3軒、土坑11基、ビット133基	土器(辻堂原式、東原式、笹貫式)		
								時期不明	溝状遺構5条	刀子、陶磁器(近世)、古銭		
4	八重石遺跡	西之表市	防衛省	馬毛島基地(仮称)建設事業	整理報告書刊行	—	R5	縄文草創期～早期	土坑1基	土器(条痕文)、磨製石鏃、磨製石斧、磨・敲石、ハンマーストーン、石皿・台石、剥片、チップ、フレーク、二次加工剥片、石核、礫器	○縄文草創期～早期の連穴土坑1基が検出。 ○縄文早期の条痕文土器と縄文晩期の黒川式土器、縄文草創期～早期の石器が出土。 ○時期不明の遺物は、旧石器の可能性もある。	中野堂込
								時期不明	荷痕29基、噴礫	—		

市町村支援

No	市町村名	遺跡名	支援要件	時代	注目される成果・支援内容等	市町村担当	センター担当者
1	出水市	出水城跡	整理作業 (市内古墳調査等事業)	中世～近世	【支援内容】 ・整理作業遺物指導 ・報告書作成技術支援	外村 さゆり	関 明恵 黒木 梨絵
2	垂水市	垂水島津家墓所	確認調査 (垂水島津家墓所災害復旧事業)	近世	【支援内容】 ・確認調査技術支援	高嶺 光佑	黒川 忠広
3	さつま町	宗功寺跡	本調査 (町単独発掘調査事業)	中世～近世	【支援内容】 ・発掘調査技術支援	佐藤 真人	平 美典
4	南種子町	野木田遺跡	本調査 (経営体育成基盤整備事業基永地区)	古墳	【支援内容】 ・発掘調査支援 ・民間委託積算支援	小脇 有希乃	隈元 俊一 鮫島 えりな 黒川 忠広
5	志布志市	福山氏庭園	整理作業 (市内遺跡発掘調査等事業)	近世	【支援内容】 ・整理作業遺物指導	川路 卓太郎	関 明恵
6	伊佐市	浜場遺跡	試掘調査 (開発対応)	古墳	【支援内容】 ・試掘調査技術支援	中村 守男	黒川 忠広
7	肝付町	塚崎1号墳	確認調査 (町内遺跡発掘調査等事業)	古墳	【支援内容】 ・確認調査技術支援	清田 祥之	堂込 秀人
8	徳之島町	大谷山遺跡	整理作業・報告書作成支援 (町内遺跡発掘調査等事業)	中世	【支援内容】 ・報告書作成技術支援	大屋 匡史	宮崎 大和
9	和泊町 知名町	沖永良部島の墓所群	報告書作成 (町内遺跡発掘調査等事業)	近世	【支援内容】 ・報告書作成技術支援	北野 堪重郎 仲田 眞一郎	黒木 梨絵

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一係の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	南水ヶ迫B	志布志市 志布志町 帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号油津・夏井道路建設	本調査	8,700	5月 ～ 2月	旧石器時代 ナイフ形石器文化期 (XⅥ層) 旧石器時代 ナイフ形石器文化期 (XⅢ層) 旧石器時代 ナイフ形石器文化期 (XⅡ層) 旧石器時代 ナイフ形石器文化期 (XⅠ層) 旧石器時代 細石刃文化期 (X層) 縄文時代早期 縄文時代後期 弥生時代 古墳時代 中世 近世・近代	遺物集中部2か所 — — — 炭化物集中部 遺物集中部1か所 土坑(連穴土坑)1基 集石10基 — — — — 土坑3基 溝状遺構2条 古道(硬化面)2条 土坑11基 溝状遺構2条	剥片・礫片 スクレイパー、加工痕のある剥片、 剥片、砥石、礫 黒曜石剥片 三稜尖頭器、ナイフ形石器、使用痕 のある剥片 細石刃、細石刃核、ブランク?、ス クレイパー、剥片、石斧基部 前平式土器、石坂式土器、平裕式 土器、ミニチュア土器、打製石鏃、 磨・敲石 中岳Ⅱ式土器、打製石鏃 刻目突帯文土器 成川式土器 — —	旧石器時代では、複数の層から三稜尖頭器や剥片などが出土した。また、遺物集中部や炭化物集中部などを検出した。縄文時代早期では、集石10基を検出した。南西～北東方向に検出されており、掘り込みがあり礫数の多いものと、礫数の少ないものに分けられる。また、連穴土坑1基を検出した。中世では、昨年度検出された遺構に続く、溝状遺構と古道(硬化面)を数条検出した。	林田 中原
2	野首	志布志市 志布志町 帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号日南・志布志道路建設	本調査	9,200	5月 ～ 2月	旧石器時代 縄文 弥生時代 古墳時代 古代 中世 時期検討中	— 土坑1基 集石1基 — — 土坑1基(炭化物集中) 道状硬化面3条 土坑4基 溝状遺構(数条) 焼土	細石刃核(Ⅳ層出土) 早期土器、丸尾式土器、指宿式土器、西平式土器、打製石鏃、磨製石斧、打製石斧、敲石、石皿、石鏝 土器片 成川式土器 土師器、土鏝 白磁、青磁、華南三彩、土師器、天目碗、瓦器、刀子、四耳壺、国産陶磁器 鉄製品、鉄鏃、水晶片、古銭	旧石器時代は、縄文時代の層から遺物が1点出土した。縄文時代早期は、前年度の調査地で多数の集石が検出したが、今回は1基のみを検出した。地点・地形により遺構密度に濃淡があることが分かった。土器型式は複数あるが遺物量は少ない。古代は、炭化物が集中する土坑を1基検出した。今後、分析等を行い、遺構の性格を把握する予定。中世の遺構は道跡と考えられる道状硬化面を検出し、調査区の広範囲から外国産陶磁器、国産陶磁器などの遺物が多数出土した。このほか、平行する溝状遺構を数条検出しており、時期検討中である。また、雁股鏃をはじめとする鉄製品が出土している。	岩澤 川野

整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
3	野首	志布志市 志布志町 帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号日南・志布志道路建設	整理	—	R5 R6	旧石器時代 ナイフ形石器文化期 縄文時代早期 縄文時代前期 ～後期 古墳時代 古代以降 時期検討中	礫群2基 土坑2基 集石85基 — — 土坑墓1基 落とし穴1基 土坑2基 (1基は貝殻入り) 掘立柱建物跡1軒	三稜尖頭器 石坂式土器、下剥峯式土器、打製石鏃、スクレイパー、チップ、磨石、敲石、凹石、石皿 深浦式土器、丸尾式土器、中岳Ⅱ式土器、西平式土器、打製石鏃、擦切石器、磨石、敲石、凹石、石皿、石鏝 成川式土器(辻堂原式) 土師器、須恵器、陶磁器 陶磁器、貝殻	旧石器時代は、礫群2基が検出され、三稜尖頭器などの遺物が出土した。縄文時代早期は、河岸段丘による傾斜地から、大小様々な規模の集石85基が検出され、打製石鏃や磨石、敲石、スクレイパーなどの遺物が出土したが、土器の出土は少ない。縄文時代前期～後期は、深浦式(日木山段階)、丸尾式、中岳Ⅱ式、西平式など、様々な型式の土器が出土した。古墳時代は、竪穴建物跡1基を検出した。古代は、副葬品と考えられる土器を伴った土坑墓が1基検出された。このほか、時期は特定できていないが、掘立柱建物跡1基、落とし穴1基、埋土中からイボキサゴと考えられる貝殻が塊で出土した土坑などが検出された。	相良 西園

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第二係の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因 事業名	調査の 種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
4	新城跡	阿久根市 山下	国土交 通省九 州地方 整備局 鹿児島 国道事 務所	南九州 西回り自 動車道 阿久根 川内道 路建設	整理・ 報告書 刊行	—	R4 R5	中世 近世以降	掘立柱建物跡5軒 柵列2基 土坑3基 炉跡10基 溝状遺構1条 ビット72基 虎口状遺構1基 土壘1基 炉跡1基 集石1基	土師器、中世須恵器、播鉢、国産 陶器(常滑焼、古瀬戸、備前焼 等)、輸入磁器(青磁、白磁、青花 等)、輸入陶器(沖縄Ⅲ類、Ⅴ類 壺、東南アジア系鉢)、瓦質土器、 土鍾、台石、滑石製品、鉄製品、碁 石、羽口、木製品 陶器(肥前系、薩摩焼等)、磁器(染 付等)、石皿、煙管	遺跡は、阿久根市山下に位置 し、高松川左岸の標高約30～ 35mの台地上に所在する。東 側に位置する愛宕山には、中 世莫祢氏の本拠地である阿久 根城跡がある。新城跡は、その 西麓の台地上に点在する山城 の一つであり、中世において歴 史的に重要な役割を果たした地 域といえる。 発掘調査では、西台地で虎口 (出入口)の可能性のある大型 土坑と通路状遺構から成る虎 口状遺構など中世山城の特徴 をもつ遺構が発見された。虎口 状遺構は、防御施設と考えられ る。他にも播鉢、鉄器、近世の 陶磁器、石皿などの遺物も出土 した。 近隣の北山遺跡や諏訪ノ前 遺跡の遺構や遺物と類似点が多 く、阿久根の中世の歴史を知る 上で貴重な資料である。	弓場 川口 (北園)
5	諏訪ノ前	阿久根市 波留	国土交 通省九 州地方 整備局 鹿児島 国道事 務所	南九州 西回り自 動車道 阿久根 川内道 路建設	整理・ 報告書 刊行	—	R5	縄文時代 古墳時代 古代 中世 近世・近代 時期不明	— — 埋壘1か所 溝跡2条 段状遺構1か所 (道跡1条含む) 礫集積遺構1か所 掘立柱建物跡1軒 掘立柱建物跡5棟 炉跡21基 トイレ遺構6基 土坑19基 ビット227基 — —	管畑式・市来式・西平式・上加世田 式・三万田式土器、石鏃、磨穀石、 石斧、石鍾、石製品 成川式土器(東原式・笹貫式) 須恵器、土師器、紡錘車、土鍾 須恵器(瓦質・土師質含む)、土師 器、中国磁器(青花・白磁・青磁) 陶器(備前・常滑・国産)、土鍾 砥石、石製礫片、碁石、滑石製品、 水輪 懸仏本尊、洪武通宝、角釘、指貫 陶器(薩摩焼・肥前等)、磁器(肥 前系等)、土製品、青磁獅子香炉脚 部 土製品、金属製品	諏訪ノ前遺跡は阿久根市波 留に所在し、阿久根市内を流 れる高松川左岸の標高約35m～ 30mの斜面上に立地する。遺 跡周辺の地域は古代の英祢駅 があったとされる比定地のひと つであること、阿久根氏の居城 である阿久根城をはじめ居城跡 が点在するなど、特に古代～中 世にかけて歴史的に重要な役 割を果たした地域であるといえ る。 今回の調査では、中世の溝状 遺構、炉跡、掘立柱建物跡、土 坑などが検出された。その中で も、科学分析によって裏付けら れたトイレ遺構は南九州で初め ての例となり貴重な成果となっ た。遺物は、縄文～近代までの 幅広い遺物が出土しているが、 中心となるのは中世後半(14世 紀～16世紀頃)の貿易陶磁器 や、土師質及び瓦質の播鉢・火 鉢である。特筆すべきは五輪塔 の水輪や懸仏の本尊などの宗 教の意味合いが強い遺物が出 土していることであり、阿久根氏 に加え、遺跡の北西側に位置 する波留南方神社との関係も 深いと考えられる遺跡である。	松山 平嶺
6	山借シ	喜界町 川嶺	農林水 産省九 州農政 局 喜界島 農業水 利事業 所	喜界島 農業水 利事業 川嶺第2 ファーム ボンド建 設	整理・ 報告書 刊行	—	R5	古代 中世 近世以降	— 掘立柱建物跡1棟 柱穴54基 土坑7基 炉跡10基 石積遺構1基 溝跡1条 溝跡1条	青磁(龍泉窯系)、白磁、青花、瑠 璃釉、カムイヤキ、輸入陶器(中国 産、タイ産)、初期唐津焼、滑石二 次加工品、石器、鉄器、ガラス玉、 鍾、獣骨 国産陶磁器(沖縄産陶器、薩摩焼、 肥前陶磁器)、鉄器、古銭	遺跡は、喜界島の標高約80m の海岸段丘上に位置する中世 の集落遺跡である。 発掘調査では、掘立柱建物 跡、土坑、炉跡、溝跡、石積遺 構などが検出され、溝跡から は、14世紀後半から15世紀前 半頃の中国産青磁や白磁ととも に、ウシを主体にウマやイノシ シ等の大量の獣骨が出土した。 出土したウシの歯のストロンチ ウム分析により、ウシは島内で 出生された個体と島外から搬入 された個体を家畜としていたこ とが確認された。獣骨には多く の解体痕が確認され、食用とし ていたと考えられる。また、喜界 島の遺跡で初めて確認された 瑠璃釉の破片や、14世紀～16 世紀頃の中国華南産の鉛で作 られたガラス玉、17世紀前半の 沖縄産無釉陶器が出土するな ど、中世後半から近世初頭にか けての食文化や人々の交流を 理解する上で重要な遺跡であ る。	小野

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第三係の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象の面積(㎡)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
7	北山	阿久根市山下・波留	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設	整理・報告書刊行	—	R2 R3 R4 R5	縄文時代 古墳時代 古代 中世 近世 鍛冶・製鉄関連遺構 その他	土坑1基 落とし穴2基 集石5基 — 掘立柱建物跡12棟 竪穴建物跡1軒 土坑35基 炉跡3基 溝状遺構8条(溝内) 石列4基(溝内) 掘立柱建物跡1棟 土坑9基 製鉄炉4基 竪穴建物1棟 土坑13基 炉跡19基 土坑20基 炉跡7基 柱穴・ピット974基	加栗山式、小牧3A、吉田式、別府原式、政所式、中原1類、中原2類、中原5類、塞ノ神B式、その他早期土器、春日式、阿高系(南福寺式含む)、西平式、その他後晩期土器 石鏃、スクレーパー、石鏟、二次加工のある剥片、石核、打製石斧、磨製石斧、石皿、台石、砥石、石鏟、敲石、磨敲石、磨石、凹石、軽石製品、その他石製品 東原式土器(甕、壺、高坏)等 土師器(甕・坏・碗等)、須恵器(壺・碗等)、黒色土器B類、越州窯系青磁、土製品、文字資料(へら書き・墨書)【へら書き:土師器、墨書:須恵器】 土師器(坏・皿等)、中世須恵器(東幡系・産地不明等)、瓦質土器(摺鉢・火鉢・風炉等)、国産陶器(摺鉢・甕等)【備前・常滑等】、青磁(碗・皿・坏等)【龍泉窯系・同安窯系等】、白磁(碗・皿・含子等)【中国を基本として朝鮮も含む】、青花(碗・皿等)【景德鎮窯・漳州窯等】、輸入陶器(壺・甕・瓶等)【中国南部・タイ産等】、滑石製石鏟、石鏟(石鏟転用)、茶臼、銭貨(洪武通宝)、火打石、天草砥石 陶器(薩摩焼・備前焼等)、磁器(肥前、古伊万里等)、金床石 陶器(薩摩焼・備前焼等)、磁器(肥前、古伊万里等)、鉄製品、鉄滓、羽口、炉壁等 天草砥石、打欠石、碁石、硯、銅製品、古銭、鉄製品	遺跡は、阿久根市山下及び波留に位置し、阿久根市内を流れる高松川左岸の標高約30～37mの台地上に所在する。遺跡周辺は古代の英祢駅比定地のひとつと考えられ、東側に位置する愛宕山には、中世莫祢氏の本拠地である阿久根城跡があるなど、古代から中世において歴史的に重要な役割を果たした地域といえる。 調査区では、縄文時代から近世までの遺構・遺物の検出・出土を確認した。縄文時代早期では、集石・土坑に伴う政所式土器のほか、腰岳系・針尾島系・姫島系の黒曜石が出土しており、他地域との交流が行われていたことが窺える。中世は、遺構の検出状況、遺物の出土状況から、溝による土地区画に伴う大規模な開発が13世紀後半以降に行われていたことが想定される。また、中世後半から近世前半にかけての製鉄炉4基を含む製鉄関連遺構を確認した。立地や形態がこれまでに確認されている製鉄炉とは異なっており、今後の検討課題である。近世における出土陶磁器の帰属時期は、16世紀末以降から19世紀の年代幅に収まる。なかでも17世紀後半～18世紀前半の陶磁器が主体を占め在地系陶器に加え、肥前系の陶器が多く見られるのが特徴である。	辻山川(上床)
8	玉利	指宿市十町	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	国道226号北十町歩道整備	整理・報告書刊行	—	R5	弥生時代 古墳時代 時期不詳	ピット40基 土坑1基 —	土器 弥生時代中期 弥生時代後期～古墳時代初頭 古墳時代後半 石胞丁、凹石、砥石、軽石製品 石匙、鉄製品	遺跡は、指宿市街地の北部に所在し、西側の山裾から東側の海岸へ緩やかに傾斜する火山性扇状地上に位置する。遺跡では、開聞岳の噴出物である紫コラ、青コラ、暗紫コラの堆積も確認された。 主な遺構としてピットが検出され、遺物は弥生時代後期～古墳時代初頭を主体とする多量の土器片が出土した。 出土遺物のうち、炭化物が付着しているものは年代測定及び安定同位体分析を実施し、内容物の検証を行った。また、土器圧痕分析により当時集落に存在した植物についても考察を行った。石器については、石胞丁の使用痕分析を依頼し、使用対象物を検討した。	眞邊

整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象の面積(㎡)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
9	南水ヶ池B	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号油津・夏井道路建設	整理	—	R5 R6	旧石器時代 ナイフ形石器文化期 旧石器時代 細石刃文化期 縄文時代早期 縄文時代中期 縄文時代後期 弥生時代 古墳時代 中世 時期検討中	— — 連穴土坑1基 集石4基 落とし穴1基 — — — — 溝状遺構13条 古道(硬化面)13条 —	石鏟、搔器、剥片、ブランディングチップ 細石刃 倉園B式土器、石坂式土器、桑ノ丸式土器、打製石鏃、磨敲石、石鏟 中岳Ⅱ式土器 刻目突帯文土器、高橋式土器 成川式土器 玉縁口縁白磁、青磁碗、華南三彩鳥形水注、青白磁双耳壺、青花(碗・皿)、土師器 溝状遺構4条 古道(硬化面)5条 土坑14基(中世以降)	遺跡は、市街地の東側、志布志湾を望む標高約55mの台地上に位置し、南西約1.5kmには国史跡の志布志城跡がある。中近世の古道及び溝状遺構が多数検出された。志布志方面から夏井を通り串間方面へ向かう交通の要だったと推定される。遺構周辺や溝内からは、中国製陶磁器の華南三彩鳥形水注や青白磁等が出土した。縄文時代早期には、調理用施設と思われる連穴土坑や集石が検出された。集石の隙と周辺の隙が接合して、台石等の石器になることも確認された。また、旧石器時代の層からは、細石刃と呼ばれる石器や、動物の皮をなめすスクレーパー、穿孔具である石器などが出土している。	大保上床

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

1 資料調査・貸出等

資料調査受け入れ数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
8	4	14	0	0	0	3	29

調査遺跡数	調査遺物数
のべ118	(4452) ほか一式

写真・図版貸出数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
4	5	2	7	0	1	2	21

写真・図版・遺物・剥ぎ取り資料貸出数

遺跡数	点数
のべ165	1,843

遺物・剥ぎ取り資料貸出数

博物館等	行政	大学	小中高	自治会等	企業	研究会	合計(件)
12	9	3	0	0	0	0	24

主な貸出先

国立歴史民俗博物館, 九州国立博物館, 鹿児島県歴史・美術センター黎明館 ほか各博物館等

2 ホームページ(<https://www.jomon-no-mori.jp>)アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	7,755	21,033	18,613	17,237	9,496	13,903	16,052	13,555	11,013	12,232	10,471	10,912	162,272

3 データベース登録数(ホームページにて検索可能)

No	登録遺跡名	登録遺物		登録遺構		
		登録実測図	登録写真	登録実測図	登録写真	
1	黒川洞穴	553	254	17	9	
2	廣牧遺跡	429	270	669	15	
3	久保田牧遺跡2	57	57	14	13	
4	立塚遺跡	11	10	0	0	
5	光台寺跡	30	26	3	3	
6	照信院跡	56	51	22	6	
7	大願寺跡	19	19	11	6	
8	平佐焼窯跡	737	0	16	16	
9	六反ヶ丸遺跡 4	293	177	17	11	
10	萩ヶ峰遺跡	587	422	18	13	
11	白水B遺跡	20	20	4	2	
12	山ノ上A遺跡	44	43	0	0	
13	白AB遺跡	13	13	0	0	
令和5度合計		遺跡数：13	2, 849	1, 362	791	94
累計		遺跡数：516	635, 687			

4 分析・保存処理点数(令和6年度中に処理が完了した遺物数)

No	処理名	処理点数	遺跡名
1	金属器処理	83点	川久保, 敷領, 尾長谷迫, 平佐焼窯跡群, 萩ヶ峰, 照信院跡, 光台寺跡, 西田橋移設復元工事
2	木器処理	52点	鹿児島城跡(犬追物馬場・火除地)
3	分析(蛍光X線, 赤外線, レントゲン)	298点	立塚, 北山, 名主原, 鹿児島城二之丸, 新城跡, 久保田牧, 柳迫, 諏訪ノ前, 南水ヶ迫B

5 研修・講座等

埋蔵文化財専門職員養成講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	埋蔵文化財基礎講座	7月19日	5市4町のべ14人
2	埋蔵文化財技術研修講座(調査技術)	8月22日～8月23日	5市6町のべ14人
3	埋蔵文化財技術研修講座(調査研究法)	2月13日～2月14日	13市8町のべ32人

教員の研修講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	フレッシュ研修講座 「体験・体感 縄文の森」	8月8日～8月9日	初任者4人 9日のみ3人
2	パワーアップ研修(10年経験者研修) 「体験・体感 縄文の森」	7月25日～7月26日 8月1日～2日	小・特・養・栄:10人 中・高:10人
3	地域体験研修(フレッシュ研修)・課題研究Ⅱ(パワーアップ研修)	8月19日～8月20日・8月22日	教職員:10人

6 普及・啓発関係

鹿児島県立埋蔵文化財センター遺跡フォーラム2024

開催日	会場	内容	参加者数
令和6年11月2日	鹿児島市	かごしま遺跡フォーラム 新発見かごしまの遺跡2024	80人

遺跡公開(現地説明会等)

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
名主原遺跡	鹿屋市	8月27日	現場公開	57
下城跡	始良市	12月22日	現地説明会	160
合 計				217

(公財)埋蔵文化財調査センター実施分

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
南水ヶ迫B遺跡	志布志市	12月7日	現地説明会	105
南水ヶ迫B遺跡	志布志市	1月22日	遺跡見学	1
野首遺跡	志布志市	1月22日	遺跡見学	1

発掘体験等

遺跡名	場所	期日	内容	学校名等	員数
下城跡	始良市	6月19日	遺跡見学・発掘体験	始良市立北山小学校5・6年生	16 人
名主原遺跡	鹿屋市	7月23日	遺跡見学・発掘体験	鹿児島市立西陵小学校3年生	1 人
合 計					17 人

職場体験学習・インターンシップ等

期 日	体験者等	内容	員数
5月7日～9日	霧島市立国分中学校3年生	職場体験学習	3 人
5月14日～16日	霧島市立隼人中学校3年生	職場体験学習	3 人
5月14日～16日	霧島市立国分南中学校3年生	職場体験学習	3 人
5月22日～24日	霧島市立舞鶴中学校3年生	職場体験学習	4 人
7月30日～31日	霧島市立横川中学校1年生	インターンシップ	1 人
合 計			14 人

まいぶんキット貸出事業(ワクワク考古楽を含む)

貸出内容						貸出対象数
本物の遺物(土器や石器など)をセットにしたものを学校等に貸出し、授業で本物に触れる機会を提供						対象25件, 1,154人以上
	貸出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	4月19日	国分南小学校	霧島市	6	88	縄文人の暮らし
2	5月17日	国分南中学校	霧島市	1	140	縄文人の暮らし
3	5月27日	秦野小学校	志布志市	6	8	縄文人の暮らし
4	5月29日	伊敷小学校	鹿児島市	6	62	縄文人の暮らし
5	5月31日	尾野見小学校	志布志市	6	10	縄文人の暮らし
6	6月1日	県歯科医師会			18	廃仏毀釈
7	6月1日	東谷山小学校	鹿児島市	6	125	キット貸出のみ(土器・石器等)
8	6月3日	和泊小学校	和泊町	6	34	キット貸出のみ(土器・石器等)
9	6月3日	波野中学校	肝付町	1	3	キット貸出のみ(土器・石器等)
10	6月14日	国分西小学校	霧島市	6	116	縄文人の暮らし
11	6月15日	小山田小学校	鹿児島市	6	11	キット貸出のみ(土器・石器等)
12	6月19日	米ノ津東小学校	出水市	6	58	縄文人の暮らし
13	5月29日	野神小学校	志布志市	6	22	縄文人の暮らし
14	7月5日	細山田中学校	鹿屋市	1	32	縄文人の暮らし
15	7月10日	伊作小学校	日置市	6	35	縄文人の暮らし
16	7月12日	花岡中学校	鹿屋市	1	38	縄文人の暮らし
17	10月2日	古田小学校	西之表市	1～6年	20	種子島の遺跡
18	10月3日	現和小学校	西之表市	3～6年	21	種子島の遺跡
19	10月3日	上西小学校	西之表市	3～6年	13	種子島の遺跡
20	11月27日	鹿児島南特別支援学校	鹿児島市	中学部 1～3年	18	縄文人の暮らし
21	12月5日	面縄中学校	伊仙町	1～3年	66	徳之島の歴史
22	12月6日	喜念小学校	伊仙町	1～6年	18	徳之島の歴史
23	12月6日	面縄小学校	伊仙町	5・6年	40	徳之島の歴史
24	1月22日	国分小学校	霧島市	6	134	国分小周辺の遺跡や歴史
25	1月27日	ジュニア・リーダー研修会		中1～高3	24	縄文人の暮らしと県内の遺跡
合計					1154	

※「ワクワク考古楽」とは、専門的な知識を持ったセンター職員が、学習指導案を作成し、本物の資料や発掘調査の成果等を効果的に使用して行う授業支援。

おでかけ体験隊支援

支援内容						対象数
土器、石器等の実物資料を活用した教育活動の支援と郷土教育推進を目的とした「上野原縄文の森」主体の出張講座で、埋文センター職員は随時支援を行う形で関わっている。						対象6件, 432人以上
	出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	5月17日	国分南中学校	霧島市	1	140	火おこし
2	5月29日	伊敷小学校	鹿児島市	6	58	火おこし
3	6月14日	国分西小学校	霧島市	6	119	火おこし
4	6月19日	米ノ津東小学校	出水市	6	51	火おこし
5	7月5日	細山田中学校	鹿屋市	1	31	火おこし
6	7月10日	伊作小学校	日置市	6	33	火おこし
合計					432	

7 刊行物等

発掘調査報告書

No	シリーズ	発掘調査報告書名	所在地	執筆担当	発行月
1	セ227	柳迫遺跡	曾於市末吉町	上浦麻矢・黒川忠広	令和6年12月
2	セ228	立塚遺跡2	鹿屋市吾平町	藤島伸一郎・山下智沙子	令和7年2月
3	セ229	高橋貝塚2	南さつま市金峰町	堂込秀人・宮崎大和	令和7年3月
4	セ230	中組遺跡	大島郡天城町	上浦麻矢・星野清・黒川忠広	令和7年3月
5	セ231	鹿児島城二之丸跡	鹿児島市	星野清・黒木梨絵・平美典	令和7年3月
6	セ232	久保田牧遺跡3 (縄文時代前期中葉～古墳時代編)	鹿屋市吾平町	森えりこ・楸田岳志	令和7年3月
7	セ233	二子塚B遺跡	曾於郡大崎町	廣栄次・中野智也	令和7年3月
8	セ234	八重石遺跡	西之表市馬毛島	中野智也・堂込秀人	令和7年3月
9	財57	玉利遺跡	指宿市十町	眞邊彩	令和7年3月
10	財58	山借シ遺跡	大島郡喜界町	小野恭一	令和7年3月
11	財59	新城跡	阿久根市山下	弓場隆章・北園和代・川口雅之	令和7年3月
12	財60	諏訪ノ前遺跡	阿久根市波留	松山初音・平嶺浩人・北園和代・川口雅之	令和7年3月
13	財61	北山遺跡2	阿久根市山下	辻明啓・山川正樹・上床真	令和7年3月

埋文だより(各2,400部発行)

No	シリーズ	内容	発行日
1	93号	黒川洞穴里帰り展、発見！発掘速報、わくわく考古楽授業支援(出前授業)、現地説明会を実施(名主原遺跡)、暑さに負けずパワーアップ！各種研修を実施、令和6年度発掘調査予定遺跡、自宅で遺跡を見学しよう	9月30日
2	94号	かごしま遺跡フォーラム、発見！発掘速報、現地説明会を実施、ワクワク考古楽in徳之島、河コレ遺跡巡り(宇宿貝塚)、自宅で遺跡を見学しよう	2月28日

8 鹿児島県立埋蔵文化財センター来所者数(令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個人	小学生	14	155	3	97	161	3	77	27	6	7	0	30	580
	中学生	46	29	1	13	54	5	0	0	0	1	1	3	153
	高校生	1	3	36	3	16	5	2	36	0	0	0	3	105
	一般	145	147	81	149	248	95	153	194	133	156	140	293	1,934
	その他	12	3	4	16	59	6	9	13	6	14	3	16	161
	計	218	337	125	278	538	114	241	270	145	178	144	345	2,933
団体	小学生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	小学生	14	155	3	97	161	3	77	27	6	7	0	580
		中学生	46	29	1	13	54	5	0	0	1	1	3	153
		高校生	1	3	36	3	16	5	2	36	0	0	3	105
		一般	145	147	81	149	248	95	153	194	133	156	293	1,934
		その他	12	3	4	16	59	6	9	13	6	14	16	161
		計	218	337	125	278	538	114	241	270	145	178	144	2,933

9 (公財)鹿児島県上野原縄文の森との連携

企画展・特別展関係

No	開催期間	企画展テーマ	講演会期日	職名・講師	講演会参加者数	総来園者数
第69回	4月27日 ～9月23日	「歴史のかけはし ～「史跡」でたどる かごしまの歴史」	6月1日	(公財)上野原縄文の森事業推進員	49	9,716
			9月7日	(公財)上野原縄文の森事業推進員	38	
第70回	10月5日 ～12月8日	「新発見！かごしまの遺跡2024～発掘 調査速報展～」	11月2日	鹿児島県立埋蔵文化財センター職員 (公財)埋蔵文化財調査センター職員	80	5,982
第71回	12月21日 ～3月9日	「人と遺跡のものがたり ～かごしまの 考古学研究史～」	2月8日	鹿児島県文化財保護審議会 会長 本田 道輝 氏 文化庁文化財第二課 主任文化財調査官 近江 俊秀 氏	112	2,375

考古学講座

No	期日	タイトル	講師	参加者数
第1回	4月20日	「探検！上野原遺跡」	上野原縄文の森職員	22
第2回	5月25日	「はじめての考古学～かごしまの平安時代～」	(公財)埋蔵文化財調査センター 調査第三係長 上床 真 氏	29
第3回	6月22日	「南の縄文文化」	上野原縄文の森職員	59
第4回	10月26日	「古の海岸線を歩こう～鹿児島神宮周辺を巡る ～」	鹿児島大学 名誉教授 森脇 広 氏	34
第5回	2月22日	「埋文センターの30年」	鹿児島県立埋蔵文化財センター 所長 中村 和美 氏	46

テーマ展示(常設展示コーナー)

	期日	展示内容
第1回	10月5日～5月13日	テーマ展示Ⅰ「弥生」

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要・年報 **縄文の森から** 第18号

発行年月 **2025年10月**

編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

E-mail maibun@jomon-no-mori.jp

URL <https://www.jomon-no-mori.jp>

印刷 有限会社 国分新生社印刷

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久627-1

Bulletion of Kagoshima
Prefectural Archaeological Center

From JOMON NO MORI

No. 18 CONTENTS

Introduction of excavated materials at the Hoshizako site,
Kajiki-cho, Aira City (2)

Kagoshima Prefectural Archaeological Center

The Suruga Bay-type pottery fragments excavated from
the Komaki site in Kanoya City

Kitazono Kazuyo

T Consideration about medieval toilet remains
in Kagoshima Prefecture

Hiramine Hiroto

The emergence and materials for flint
in Satsuma and Osumi

Fujiki Satoshi

Annual of Kagoshima Prefectural Archaeological Center of the
6nd year in Reiwa.

Kagoshima Prefectural Archaeological Center
October 2025

研究紀要・年報

縄文の森から

第
18
号

二〇二五

鹿児島県立埋蔵文化財センター